

劇薬、処方箋医薬品

子宮収縮止血剤

日本薬局方 メチルエルゴメトリンマレイン酸塩錠

メチルエルゴメトリン錠0.125mg「あすか」

子宮収縮止血剤

メチルエルゴメトリンマレイン酸塩注射液

メチルエルゴメトリン注0.2mg「あすか」

— 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。—

「使用上の注意」改訂のお知らせ

この度、厚生労働省医薬局医薬安全対策課長通知等により、標記製品の「使用上の注意」を改訂いたしましたので、お知らせ申し上げます。

本剤のご使用に際しましては、下記の改訂内容をご参照くださいますようお願い申し上げます。

改訂内容につきましては、医薬品安全対策情報（DSU）No.344 に掲載される予定です。

2026 年 3 月

あすか製薬株式会社

改訂内容（ _____ : 改訂箇所、 _____ : 削除箇所）

改 訂 後	改 訂 前
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.5 省略 2.6 HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、ダルナビル含有製剤）、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、レテルモビル、エンシトレルビル、レナカパビル、5-HT_{1B/1D}受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン）、エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、<u>ロナファルニブ</u>、<u>セリチニブ</u>を投与中の患者 [10.1 参照]</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと） 2.1～2.5 省略 2.6 HIVプロテアーゼ阻害剤（リトナビル含有製剤、<u>アタザナビル</u>、<u>ホスアンプレナビル</u>、<u>ダルナビル</u>含有製剤）、<u>エファビレンツ</u>、アゾール系抗真菌薬（イトラコナゾール、ボリコナゾール、ポサコナゾール）、コビススタット含有製剤、ニルマトレルビル・リトナビル、レテルモビル、エンシトレルビル、レナカパビル、5-HT_{1B/1D}受容体作動薬（スマトリプタン、ゾルミトリプタン、エレトリプタン、リザトリプタン、ナラトリプタン）、エルゴタミン・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリンを投与中の患者 [10.1 参照]</p>

（次ページへ続く）

改訂内容(_____ : 改訂箇所、 _____ : 削除箇所)

改訂後			改訂前														
<p>10. 相互作用 本剤は主にCYP3A4で代謝される。</p> <p>10.1 併用禁忌 (併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ) ダルナビル含有製剤(プリジスタ、プレジコビックス、シムツーザ) アゾール系抗真菌薬 イトラコゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ポサコナゾール(ノクサフィル) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) レテルモビル(プレバミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) レナカナビル(シュンレンカ) ロナファルニブ(ゾキンヴィ) セリチニブ(ジカディア) [2.6 参照]</td> <td>本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。</td> <td>これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。</td> </tr> </tbody> </table> <p>省略</p>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ) ダルナビル含有製剤(プリジスタ、プレジコビックス、シムツーザ) アゾール系抗真菌薬 イトラコゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ポサコナゾール(ノクサフィル) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) レテルモビル(プレバミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) レナカナビル(シュンレンカ) ロナファルニブ(ゾキンヴィ) セリチニブ(ジカディア) [2.6 参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。	<p>10. 相互作用 本剤は主にCYP3A4で代謝される。</p> <p>10.1 併用禁忌 (併用しないこと)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ) アタザナビル(レイアタツ) ホスアンブレナビル(レクシヴァ) ダルナビル含有製剤(プリジスタ、プリジスタナイーブ、プレジコビックス、シムツーザ) エファビレンツ(ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ポサコナゾール(ノクサフィル) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) レテルモビル(プレバミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) レナカナビル(シュンレンカ) [2.6 参照]</td> <td>本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。</td> <td>これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。</td> </tr> </tbody> </table> <p>省略</p>			薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ) アタザナビル(レイアタツ) ホスアンブレナビル(レクシヴァ) ダルナビル含有製剤(プリジスタ、プリジスタナイーブ、プレジコビックス、シムツーザ) エファビレンツ(ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ポサコナゾール(ノクサフィル) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) レテルモビル(プレバミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) レナカナビル(シュンレンカ) [2.6 参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子															
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ) ダルナビル含有製剤(プリジスタ、プレジコビックス、シムツーザ) アゾール系抗真菌薬 イトラコゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ポサコナゾール(ノクサフィル) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) レテルモビル(プレバミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) レナカナビル(シュンレンカ) ロナファルニブ(ゾキンヴィ) セリチニブ(ジカディア) [2.6 参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。															
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子															
HIVプロテアーゼ阻害剤 リトナビル含有製剤(ノービア、カレトラ) アタザナビル(レイアタツ) ホスアンブレナビル(レクシヴァ) ダルナビル含有製剤(プリジスタ、プリジスタナイーブ、プレジコビックス、シムツーザ) エファビレンツ(ストックリン) アゾール系抗真菌薬 イトラコゾール(イトリゾール) ボリコナゾール(ブイフェンド) ポサコナゾール(ノクサフィル) コビシスタット含有製剤(ゲンボイヤ、プレジコビックス、シムツーザ) ニルマトレルビル・リトナビル(パキロビッド) レテルモビル(プレバミス) エンシトレルビル(ゾコーバ) レナカナビル(シュンレンカ) [2.6 参照]	本剤の血中濃度が上昇し、血管攣縮等の重篤な副作用を起こすおそれがある。	これらの薬剤がCYP3A4を阻害することにより、本剤の代謝が阻害されるおそれがある。															
<p>10.2 併用注意 (併用に注意すること) 省略</p>			<p>10.2 併用注意 (併用に注意すること) 省略</p>														

以上

～最新の電子添文はこちらから～

メチルエルゴメトリン錠0.125mg「あすか」



メチルエルゴメトリン注0.2mg「あすか」

